

人材育成

乗務員の養成と資質管理

当社には、国土交通省の指定を受けた養成所として「鉄道研修センター」があり、ここで多くの運転士・車掌を養成してきました。今後も、お客さまの「安心」「信頼」のために、「安全」を守る乗務員の養成に全力で取り組んでまいります。

● 運転士・車掌の養成

運転士・車掌の養成は、「鉄道研修センター」で所定の学科を学んだ後、各乗務職場に配属され指導運転士・指導車掌のもとマンツーマンで乗務しながら技能を習得していきます。



運転シミュレーターを使った訓練



現車乗務員室を使った訓練



運転士養成における現車訓練

● アルコール検知器による確認と健康管理

乗務員は、乗務前に必ず監督者による健康状態の確認を受ける他、アルコール検知器による確認を徹底しています。また、定期的に健康診断も実施しています。



乗務前のアルコール検知器による確認

● 協力会社への教育

工事を共に実施する協力企業に対しても、定期的に教育を実施しています。

安全研修会では鉄道工事の特徴を踏まえた安全教育、また安全に関する各社の取り組みの共有などにより、安全意識の向上を図っています。



安全研修会での安全講話

安全をつくる意識向上と技術伝承

現場での作業における安全意識向上に向けた取り組みや、設備や施設のメンテナンス作業などに必要な技術を伝承するための取り組みを行っています。

● 危険体感研修

危険体感研修は、墜落制止用器具（安全帯）の装着や高所歩行、高所からの工具落下や感電などの体験をすることを通じて、作業上発生しうる危険なポイントを伝える訓練です。経験の浅い若手社員に対し、事故防止の意識向上を図るために実施しています。



高所歩行体験で高さ約2mの狭い通路を歩行する疑似体験の様子



墜落制止用器具（安全帯）を装着した疑似体験の様子

● 訓練・競技会

技術部門では、設備の更新に伴う機器の性能向上により、部品などの故障や劣化による取り替えが少なくなってきた現状を踏まえ、組織の技術力強化やベテランから若手への技術伝承、従業員のモチベーション向上などを目的として、訓練や競技会を定期的実施しています。



電気部門での軌道カート運転訓練



工務部門での緊急時の列車防護訓練：列車見張員による運転士へ緊急停止を合図する訓練



車両部での技能競技会：電子機器の修繕作業



電気部門での技能競技会：電車線の張り替え作業

緊急事態に備えたさまざまな訓練

万が一、不測の事態が発生したときには、冷静かつ迅速・的確に事故の処理ができるよう、日ごろからさまざまな訓練を行っています。

● 運転事故総合訓練

毎年1回、鉄道事故が発生した際の併発事故の防止、負傷者の救護、関係部署への連絡通報、お客さまの避難誘導、復旧作業などを迅速、確実に行うために「運転事故総合訓練」を実施しています。2023年度は10月25日に現場での処置対応を長津田検車区の車庫内で実施し、社長、安全統括管理者をはじめ鉄道事業本部の各部門、約150名が参加しました。本社では現場と同時並行での情報伝達訓練も実施し、約40名が参加しました。



運転士による床下点検



事故車両の脱線復旧作業



電気部による架線復旧対応



各部と連携したお客さま避難誘導

● 異常時運転取扱訓練

春と秋の年2回、職場ごとに「異常時運転取扱訓練」を実施しています。駅係員は、対向列車や後続列車を緊急に停止させる列車防護、ポイントが故障した場合を想定した手動操作、ホーム案内時の列車緊急停止合図などの訓練を行っています。

また運転士と車掌は、列車防護、負傷者の救護、運輸司令所への連絡通報、お客さまの避難誘導などの訓練を行っています。



白杖ご利用のお客さまの避難誘導



信号炎管を使用した列車緊急停止訓練

● 事故・災害対策本部設置・初動対応訓練

万が一の事故・災害発生時に迅速かつ適切に対応ができるよう、対策本部の設置と初動対応の訓練を、有事の際に指揮者となる管理職を中心に、定期的の実施しています。



管理職を中心とした本社での訓練

● 運輸部避難誘導訓練

- 日時：2024年3月19日終電後
- 場所：大井町線 緑が丘駅～大岡山駅
- 方法：ブラインド型訓練
- 目的：列車火災発生時の初動対応や、要介助者を含む車内旅客を速やかに避難誘導できるよう、乗務員・駅・運輸司令所との連携を確認
- 概要：駅間走行中、車内でガソリンをまかれ引火。大岡山駅到着前に緊急停止した想定で、直接降車などによる避難誘導訓練を実施



要介助者を含む車内のお客さまの避難誘導訓練

安全MEMO

異常時用名札ワッペン

従業員が、通勤時など当社線を利用中に事故や災害に遭遇した際には、この「名札ワッペン」を左胸などに貼り付け支援活動を行います。お客さまや外部の関係者に対して支援者が当社の従業員であることを明示し、円滑な支援活動ができるよう備えています。



● 警察・消防との連携

社内の定期的な訓練だけでなく、警察署や消防署と連携したお客さまの避難誘導などの訓練を職場単位で実施しています。



消防隊による消火活動



煙が充満する車内からの避難誘導

① 駅構内テロ対策合同訓練（蒲田駅）

- 実施日：2024 年 2 月 19 日
- 場 所：蒲田駅構内
- 目 的：列車内で発生した粗暴行為対応時の、警察・消防との連携確認
- 概 要：車内で劇物がまかれ、犯人が拳銃を取り出し車内に居座る想定。お客さまの避難誘導、改札規制、110 番通報、119 番通報を行う合同対応訓練を実施
- 参加者：蒲田警察署、矢口消防署、東急電鉄 計約 100 名



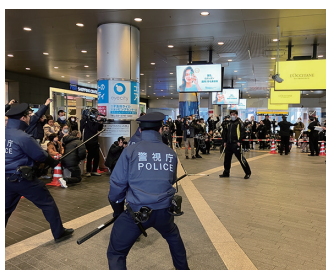
駅と警察による連携確認



ホーム上で不審者を確保する様子

② 駅構内テロ対策合同訓練（二子玉川駅）

- 実施日：2024 年 3 月 19 日
- 場 所：二子玉川駅構内
- 目 的：「地下鉄サリン事件」同種事案の総合的対処訓練を実施し、対応練度を上げる
- 概 要：駅構内に、不審者により危険物質がまかれた想定。旅客避難誘導、消防隊による被害者救助、被疑者確保、サリン除去について検証を実施
- 参加者：玉川警察署、田園調布警察署、碑文谷警察署、高津警察署、玉川消防署、東急電鉄 計約 80 名



駅構内で警察が不審者と対峙



不審者によってまかれた危険物質を除去

③ 粗暴犯対応訓練（大井町駅）

- 実施日：2023 年 4 月 5 日
- 場 所：大井町駅構内
- 目 的：刃物を所持した粗暴犯対応と、警察への通報方を再確認
- 概 要：駅構内で、不審者が刃物を持って暴れている想定で実施。警察への通報、お客さまの避難誘導、警察が被害者を確保するまでの、お客さまの安全確保について訓練を実施
- 参加者：大井警察署、東急電鉄 計約 20 名



ホームで警察が粗暴犯を確保

④ 粗暴犯対応訓練（長津田車両工場）

- 実施日：2023 年 12 月 18 日
- 場 所：長津田車両工場
- 目 的：車内での粗暴行為発生時の基本的な対応を、警察と消防と共に検証
- 概 要：長津田車両工場で、実車を使用。車内で粗暴行為が発生した想定で、負傷者の救護と避難誘導の際の、警察・消防との連携訓練を実施
- 参加者：青葉警察署、青葉消防署、東急電鉄 計約 40 名



駅係員と消防隊で負傷者を救護

● 護身用具使用訓練

- 実施日：2024 年 3 月 19 日
- 場 所：大岡山駅構内
- 目 的：駅に備えた防犯グッズを使用した、粗暴犯への対応を再確認
- 概 要：駅構内で粗暴犯が暴れている想定。新たに駅に備え付けた「さすまた」「ネットランチャー」「フラッシュライト」を使用して、お客さまの安全を守る訓練を実施

震災への備え

2011年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、事業継続計画を構築するとともに建造物の耐震補強工事に取り組んでいます。

当社では原則、震度4以上の地震が発生した場合には、全列車を一旦停止させた上で、徐行運転や施設等の点検などにより安全を確認します。確実に安全を確保した上で、早期の運転再開ができるよう努めています。

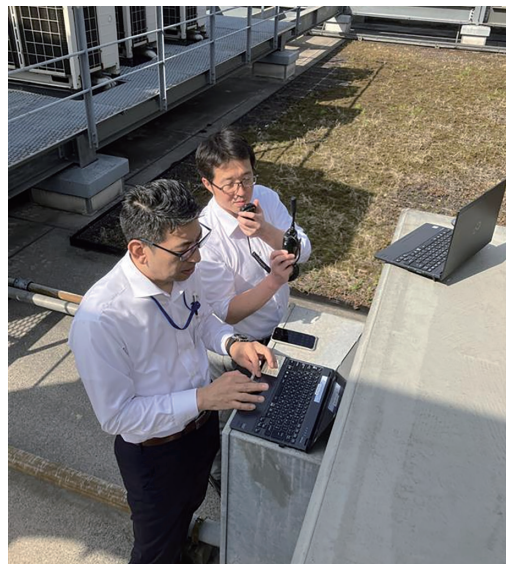
また、大震災の影響を踏まえ、事業の継続力の向上によりお客さまの安全確保と災害に強い東急線を目指します。

● 事業継続計画（BCP）の継続的改善

大規模地震や災害発生時にお客さまの安全を確保することを優先とし、適切な避難誘導や正確かつ迅速な情報提供、早期の運転再開に資するように事業継続計画を構築しています。今後も減災対策の推進や災害を想定した訓練の実施により事業の継続力を高めています。

● 代替通信手段の設置

大規模災害発生時に通常の通信手段が使用不能となった場合の通信手段として「管内間電話」「JR電話」「衛星電話」「衛星無線」「警視庁緊急時直通電話」を導入しています。



衛星無線通話訓練

● 帰宅が困難なお客さまへの対応

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客さまへの対応として、保存食、簡易ブランケット、簡易トイレが全ての駅に確保されており、飲料水については、災害対応飲料自販機を設置しています。

また、一時滞在施設へ移動されるまでの一時的な待機場所として、点検が終了した駅構内の一部をお客さまに提供し、警察・消防と連携を図りながらお客さまの安全を確保できるよう努めます。その他、行政機関主催の災害対策会議などへ積極的に参加し連携を図っています。



保存食



簡易トイレ



簡易ブランケット



備蓄飲料水



災害対応飲料自販機

ディスプレイに記された「災害救援自販機」が目印